農商工労働常任委員会　議事次第

令和８年11月25日（水）
午後１時３０分～
於：第７委員会室

１　開　　会

２　所管事項の調査

「中小企業の高付加価値化と生産性の向上を通じた
京都の活力の向上について」
参考人：二九精密機械工業株式会社
技術部　部長　堀　　良嗣　氏
同部　　次長　西川　秀樹　氏

３　その他

４　閉　　会

農商工労働常任委員会　出席要求理事者名簿
（11月25日）

【商工労働観光部】	
商工労働観光部副部長 （産業創造担当）	安　達　雅　浩
産業労働総務課長	安　藤　成　司
中小企業総合支援課長	田　村　弘　之
産業振興課長	森　本　耕　次

（　計　　４　名　）

京都の活力向上に向けた
中小企業の成長支援について

～ 高付加価値化と生産性向上 ～

令和8年11月25日　商工労働観光部

京都府における中小企業支援（１）

○経営の安定、再生及び承継

■経営相談、経営改善、技術向上
- 中小企業応援隊の活動（年間4万件超の訪問活動、企業の課題把握）

■承継に関する助言、育成・確保
- 京都府中小企業事業継続・創生支援センターによる支援

■円滑な資金供給、設備導入支援
- 中小企業制度融資（年間約５千件の融資）
- **生産性向上・人手不足対策事業**

○成長・発展の促進

■研究開発等による成長支援
- 事業計画（元気印）の認定
- **京都エコノミック・ガーデニング支援強化事業**：
  付加価値の高い製品・サービス等の創出を通じた経営基盤強化
- 産学公の森推進事業：社会課題解決のための産学・企業間連携支援

■スタートアップ支援、創業支援

■「京都産業創造プロジェクト」の始動

京都府における中小企業支援（２）

○知的財産等の創造、保護及び活用の促進

■知的財産の保護・活用支援
- 知的財産総合サポートセンター運営（特許等相談対応）
- 「知恵の経営」支援（企業認証、補助金）

○雇用対策・人材育成

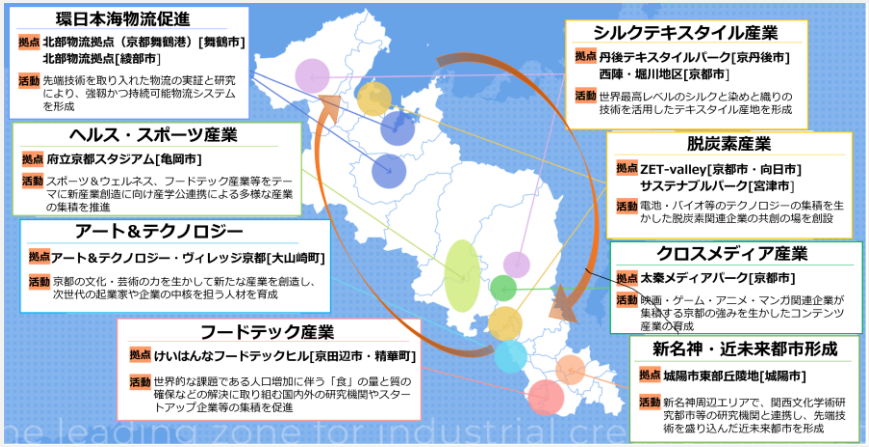
■育成、確保
- 京都ジョブパークにおける支援（年間延利用者数１５～１８万人超）
- 京都府生涯現役クリエイティブセンター
- 就労・奨学金返済一体型支援事業【補助金】

■雇用対策、人材活用
- プロフェッショナル人材マッチング（年間１００～２００件超）
- 京都府地域活性化雇用創造プロジェクト

「京都産業創造プロジェクト」の始動

○　京都産業の強みを活かした**「テーマ」**の旗を府内の**「ゾーン」**に立てて、**産業創造拠点を整備する「産業創造リーディングゾーン」**に取り組んできた
○　国内外の多様な主体と連携し、京都の素晴らしい技術や価値を生かしたイノベーションを促進することにより、**企業・研究者を呼び込む**など、**京都から世界に伍する産業を育て上げる「京都産業創造プロジェクト」**を始動

産業創造リーディングゾーン



→テーマに応じた多様なプレイヤーとの
連携の基盤構築

京都産業創造プロジェクト

・**府域全域への展開や海外とのネットワーク構築**を進めるものや、**拠点を中心に産業創造**を図るものなど、それぞれのテーマに応じた取組を推進

【府域全域への展開や海外とのネットワーク構築を進める取組】
- ◎ **伝統産業を世界と繋がる先端産業に**
- ◎ **脱炭素テクノロジー**
- ◎ **クロスメディア産業**
- ◎ **AI×半導体×ものづくり産業**
- ◎ **スタートアップの都KYOTO**

【拠点を中心に産業創造を図る取組】
- ◎ **アート&テクノロジー・ビレッジ京都**
- ◎ **フードテック**

中小企業を取り巻く情勢

〇コロナ禍からの経済活動の再開

・受注・ニーズが回復しつつあるものの、人手・設備・サプライチェーンの混乱により生産活動に一部制約

◆物価高・人手不足・経営構造の変革

〇原材料・エネルギー価格の高騰

・地政学リスクでの原材料等価格の高騰、物流停滞、円安の影響

〇人手不足の深刻化と持続的な賃上げ構造への対応

・少子高齢化に伴う構造的な人手不足と防衛的な賃上げによるコスト増

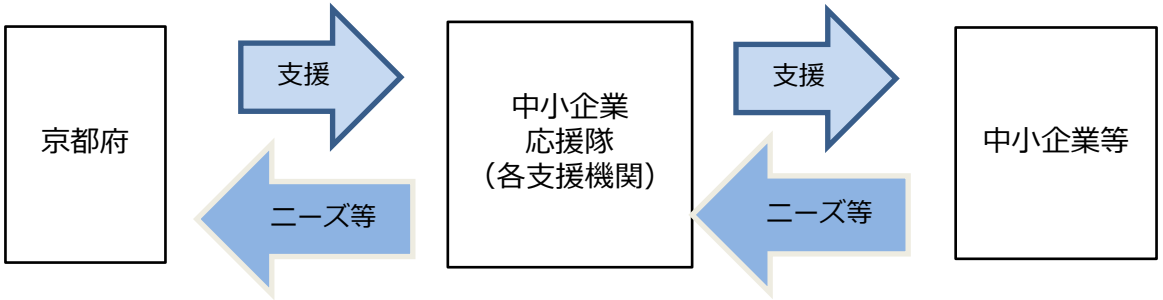
〇経営構造の変革の必要性

・物価高騰の中でコスト削減だけでなく、企業の持つ資源を効率的に活用して事業拡大を図るため、**持続的な生産性の向上**及び**高付加価値化**による経営基盤強化が必要

中小企業応援隊

○商工会等と連携した経営相談等

・京都府、京都市、産業支援機関等によるオール京都での支援体制を構築
（商工会議所・商工会等の経営支援員などを核に結成　平成23年４月）
・金融機関と経営支援機関の橋渡しを行う特別経営 指導員の配置に加え、高度化する経営課題に対応する経営支援コーディネーターの配置等により、経営相談体制を強化



【成　果】

- **応援隊員の訪問、補助金支援等により経営改善等が進展**
- **中小企業が費用や売上等の分析を通して自らの事業内容を再考　など**

京都府における中小企業支援（３）

- **持続的な生産性の向上**
- 高付加価値化による経営基盤強化

持続的な生産性向上に向けた取組への支援

生産性向上・人手不足対策事業

- 業種・業界の垣根を越えて、３Ｓ・５Ｓをはじめとした持続的な生産性向上に資する取組を学び・実践する仕組みを構築し、ソフトとハードを組み合わせた一体的な支援を実施

Ｒ6.9月補正予算：5.0億円
Ｒ7.2月補正予算：8.0億円
Ｒ8.2月補正予算：8.0億円

①生産性向上に向けた勉強会等の取組への支援

対　象	・**中小企業が属する各種組合、企業グループ**
支援内容	・**生産性向上に資する取組の好事例やノウハウを取り込むための勉強会・ワークショップ等の実施に要する経費**

②生産性向上に資する設備導入等への支援

対　象	**生産性向上に向けた勉強会等に参加した組合、グループ、これらに属する中小企業**
支援内容	生産性向上に資する設備導入や人材育成等に要する経費
補助率	３／４（補助上限：2,000千円）

持続的な生産性向上に向けた取組への支援

現　状

▶　令和６年度、７年度の２年間で延べ106の組合、１３の企業グループが生産性向上・人手不足対策事業を学ぶ勉強会等を開催。勉強会等で学んだ成果を活かし、社員の意識改革や機器整備などに取り組む374もの生産性向上モデルが創出

過年度事業（例）

＜勉強会・ワークショップ事業＞

・古本小売業における、**物品保管棚の増設や搬出入口の変更により、整理整頓が徹底でき、 従業員の作業や物品の移動がスムーズ**になった事例を学ぶ



👆勉強会の様子

＜生産性向上等モデル事業＞

・生産体制の増強や在庫・発送等の管理体制の構築に向けて、**機器導入により、製造工程の待ち時間の短縮化を図るとともに、経営陣と各管理部門のリーダーが情報共有を行いながら、マネジメント人材を育成する仕組みづくり**

対　応

▶　経営支援機関が共同し、より多くの業種、地域で継続的に勉強会を開催する体制の構築と、外部からの知見や経験を導入し、持続的な経営の改善や自ら現場の生産性向上に取り組む人材の育成につなげるための専門的支援の強化を進める。

持続的な生産性向上に向けた取組への支援

生産性向上に向けた取り組みが持続的なものになるために

実施機関の役割

〇京都府中小企業団体中央会　〇京都産業２１　〇商工会・商工会議所

　生産性向上の取組に遅れがみられる業界や地域に対し、積極的にアプローチを行い、勉強会・ＷＳの実施を重点支援

　勉強会・ＷＳを実施した組合や企業グループ等に対し、中小企業応援隊が勉強会・ＷＳのテーマ設定や役割分担など、細やかな伴走支援を実施し、取組が一過性で終わることがないよう継続的にフォロー

　他の組合や企業グループにおける好事例（勉強会のテーマや進め方等）を共有し、府内全体で効率的かつ継続的な学び合いの輪を構築

関係機関との連携

〇京都府生産性向上支援センターとの連携

　生産性向上に向けた全国的なサポート体制の整備の一環として、中小企業庁が令和８年4月1日から各都道府県のよろず支援拠点内に設置（京都府では産業２１内）

　中小企業・小規模事業者等の生産性向上（特に労働投入量の効率化）に向け、複数回、現場訪問型の徹底した伴走支援を提供



京都府における中小企業支援（４）

- 持続的な生産性の向上

- **高付加価値化による経営基盤強化**

高付加価値化による経営基盤強化の取組への支援

京都エコノミック・ガーデニング支援強化事業

- 自社の経営資源（強み）を活かした新商品・サービス開発など、高付加価値化による経営基盤の強化を図る取組を、調査分析から体制構築、実践まで一貫支援

R6.2月補正予算：5.0億円
R7当初予算　　：3.0億円
R8.2月補正予算：3.0億円

支援対象	**京都府内に拠点を有する中小企業　又は** **京都府内に拠点を有する中小企業を代表とする産産連携グループ（R8～）**
対象事業	**Ⅰ事業創生コース（調査分析）** データ分析や課題調査等、事業計画段階に必要な取組 （ワークショップ、市場調査、技術研修　等） **Ⅱ事業化促進コース（体制構築）** 高付加価値化のための研究・投資（試作品開発、テスト販売　等） **Ⅲ本格的事業展開コース（実践）** 構築した新体制による本格的実践（生産体制の構築、機器導入　等）
支援規模	**Ⅰ：100万円以内　（グループの場合　200万円以内）** **Ⅱ：1,000万円以内　（　2,000万円以内）** **Ⅲ：3,000万円以内　（　6,000万円以内）** **※補助率　½**

補助実績（交付件数）	R7	R6	R5	R4	合計
	30	58	48	55	191

高付加価値化による経営基盤強化の取組への支援

試作から実装まで事業段階に応じて支援

想定事例）精密加工技術を有する中小製造業が、半導体製造装置部品への新規参入を計画

Ⅰコース　検証

半導体製造装置用の高精度部品への参入に向け、市場分析や技術調査を実施し、事業化の可能性を検証。

Ⅱコース　試作・販路開拓

部品の試作品を開発し、半導体関連メーカーとの性能テストを通じて、製品仕様を決定。

Ⅲコース　実装化

量産体制の構築に向け、高精度加工機械の導入や既存設備の改造、品質管理体制を強化し、受注開始。

高付加価値化の実現

半導体サプライチェーンへの本格参入

活用事例

Ⅰ事業創生コース
- 小型農業ロボットの実用化に向け、農地特有の凹凸や土質を現場で調査し、要求される性能を検証
- 映像制作のハードルを大きく下げる映像加工アプリの開発に向け、市場分析の実施や製品仕様を検討

Ⅱ事業化促進コース
- 精密部品製造業が自社製品の安定供給と高品質化を目指し、AI検査装置の開発と性能評価を実施
- 京友禅の意匠資産をデジタルコンテンツとして再構築し、イベントでの実証を通じて販売モデルを確立

Ⅲ本格的事業展開コース
- 独自開発の林業向け森林解析システムの本格販売を見据え、精度の向上と機能の拡充を実施
- 金属加工業が自社用に開発したAI機能付き生産管理システムの実装に向け、スマート工場を整備